【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月10日
【会社名】	株式会社ホットリンク
【英訳名】	Hotto Link Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　内山　幸樹
【本店の所在の場所】	東京都千代田区四番町６番
【電話番号】	03-5745-3900
【事務連絡者氏名】	取締役CFO　　髙尾　秀四郎
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区四番町６番
【電話番号】	03-5745-3900
【事務連絡者氏名】	取締役CFO　　髙尾　秀四郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町２番１号)

1【提出理由】

平成26年11月９日開催の当社取締役会において、特定子会社の異動に係る決議をいたしましたので、金融商品取引法第24条の５第４項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第３号及び第８号の２の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

① 名称　　：Effyis,Inc.
② 住所　　：700 Tower Drive,Suite 140 Troy,Michigan 48098
③ 代表者の氏名：CEO,SCOTT Purdon
④ 資本金　　：836千米ドル（平成26年９月30日現在）
⑤ 事業の内容　：ソーシャルメディアデータ提供事業

(2) 当該異動の前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数及び当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

① 当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数
異動前：　－ 個
異動後：118,152個
② 総株主等の議決権に対する割合
異動前：　0.00%
異動後：100.00%
（注）　総株主等の議決権に対する割合は、Effyis,Inc.の平成26年９月30日現在における総株主等の議決権の数（118,152個）を基準に算出しております。

(3) 当該異動の理由及びその年月日

① 異動の理由　：当社がEffyis,Inc.株式を100.0%取得することにより子会社となり、また、同社の最近事業年度の売上高が当社の同期間の売上高の100分の10以上に相当するため、、特定子会社に該当することになります。
② 異動の年月日：平成27年１月５日（予定）

（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第８号の２に基づく報告内容）

(4) 取得対象子会社の概要

① 商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	Effyis,Inc.
本店の所在地	700 Tower Drive,Suite 140 Troy,Michigan 48098
代表者の氏名	SCOTT Purdon
資本金の額	836千米ドル　(平成26年９月30日現在)
純資産の額	△357千米ドル　(平成26年９月30日現在)
総資産の額	2,872千米ドル　(平成26年９月30日現在)
事業の内容	ソーシャルメディアデータ提供事業

② 最近３年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

（単位：千米ドル）

	平成23年12月期	平成24年12月期	平成25年12月期
売上高	3,741	5,296	7,751
営業利益	730	322	97
当期純利益	485	257	30

③　提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
取引関係	アジア・パシフィック地域における中国ソーシャルメディアデータの独占販売代理に関する業務提携を締結しております。 なお、Effyis社はSocialgistというブランド名で事業展開を行っております。

(5) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社グループは「ビッグデータ×ソーシャル×クラウド」を事業コンセプトとし、ソーシャル・ビッグデータを活用するSaaSツールの提供（SaaS事業）、ソーシャル・ビッグデータを活用する他のプレイヤーに対して、ソーシャル・ビッグデータや、その解析エンジンを供給するソリューション事業の２つの事業を展開しております。

当社グループを取り巻く環境においては、Facebook、Twitter、Google+、LINE及びSina Weibo等、主要なソーシャルメディアサービスのMAU(Monthly Active User)が単純合計で39億人を超え、ソーシャルメディアはもはや、生活になくてはならいものになったと言えます。このようなソーシャルメディアの普及に伴い、マーケティング分野のみならず、様々な業界、分野でのソーシャルメディアデータの活用が進んでおります。

このソーシャルメディアデータに関する業界は、日本市場のみならず、グローバル市場において、①データ保有プレイヤー、②データ流通プレイヤー、③データ活用プレイヤーという３つのプレイヤーで構成されています。この中で、データ保有プレイヤーが生み出すソーシャルメディアデータの種類は多様化し、また、データ量が肥大化するに伴い、多様なソーシャルメディアデータを一括で、かつ安定的に、かつ漏れ無く収集したいというデータ活用プレイヤーからのニーズが高まっています。従って、それら２つのプレイヤーをつなぐデータ流通プレイヤーの役割が益々重要になってきております。

そのような状況の中、ソーシャルメディアデータの流通プレイヤーとして、グローバル市場におけるキープレイヤーの１社であったTopsy Labs,inc.は平成25年12月にApple,Inc.に買収され、同じく当社と業務提携契約を締結しているGnip Inc.も平成26年４月にTwitter Inc.に買収されるなど、業界の統合、再編が起こっております。

一方、当社グループは、成長戦略として次の３つを展開しております。
ソーシャルメディアデータ活用の
１．マーケティング分野での浸透
２．多様な産業への展開及びデータ流通プレイヤーの地位確立
３．海外展開

２．データ流通プレイヤーの地位確立、及び、３．海外展開の具現化、を図るに当って、グローバル市場におけるソーシャルメディアデータの流通プレイヤーの地位を確立することは、極めて重要なアクションと考えております。そこで、グローバル市場におけるソーシャルメディアデータの流通プレイヤーのキープレイヤーであり、グローバル企業群を顧客として持つEffyis社の発行済株式数の100%を取得することといたしました。

Effyis社は平成12年５月にソーシャルメディアデータ提供会社として設立され、本日時点において世界で唯一、中国版Twitterと呼ばれるSina Weiboのデータへのフルアクセス権の販売ライセンスを付与された、米国ミシガン州のベンチャー企業です。主なサービスは、Sina Weiboを始め、世界中のBBSサイト、Q&Aサイト、レビューサイト、オンライン動画サイト等のソーシャルメディアデータをマーケティングプラットフォーム提供企業、ソーシャルメディアデータ分析企業、ソーシャルメディアデータ提供企業等、及びビジネスインテリジェンスツール提供企業に販売しております。中でも中国のソーシャルメディアのモニタリングや分析に関するニーズが急速に高まっており、現在、Sina Weiboその他のソーシャルメディアデータの売上が拡大していることから、今後も成長が加速するものと考えております。

買収の効果としては、以下の通りです。
①現在、統合・再編が起こっているグローバル市場におけるソーシャルメディアデータのデータ流通プレイヤーのキーポジションを獲得できる。
②グローバル市場において当社事業と同規模の売上・利益の事業・サービス・顧客基盤を獲得できる。
③大手グローバル企業と対等にビジネス上の関係構築ができるグローバル人材が確保できる
等であります。

また、今後の当社既存製品の展開としては、Sina Weiboデータ提供サービスの機能拡張や、当社製品（クチコミ@係長）の海外版の提供、Sina Weiboデータを基にした中国のリスク検知サービスの開始が可能となること等が挙げられます。

(6) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

Effyis社の普通株式	**22百万円米ドル（約2,464百万円）**
アドバイザリー費用等（概算額）	**38百万円**
合計（概算額）	**2,502百万円**

（注）米ドル・日本円の為替レートを便宜上１米ドル＝112円で換算しております。

以　上